

全力投球



春のセンバツ高校野球に出場する32校が1月28日に発表され、佐渡高校が「21世紀枠」で選ばれました。佐渡からの甲子園出場は史上初の快挙です。

「佐渡から甲子園」を胸に、ひたむきに努力を重ねてきた佐渡高校野球部。

離島による地理的ハンデいを「甲子園で戦うための試練」ととらえ、乗り越えてきました。22年度秋季県大会で準優勝し、北信越大会に出場。その実績に加え、人間力向上をテーマとした指導や、野球部だけではなく学校全体の伝統や生徒の活動などが評価され、「佐渡から甲子園」は実現しました。

努力すれば夢が叶うということを証明してくれた佐高ナイン。選手は甲子園での勝利を目指し、今日も必死で練習しています。大会ではチーム一丸となって全力でプレーし、甲子園に「佐渡旋風」を巻き起こしてくれることでしょう。

組み合わせ抽選会は3月15日（火）、大会は3月23日（水）に阪神甲子園球場（兵庫県）で開幕します。

いざ、甲子園へ！

【佐渡高等学校】
佐渡市石田567番地。明治29年創立。創立114年目を迎える県内屈指の伝統校。約4万人の卒業生を輩出。現在、生徒数633名。野球部は昭和38年創部。